基準９　教育研究環境

基準９　教育研究環境

９－１　教育研究目的を達成するために必要なキャンパス（校地、運動場、校舎等の施設設備）が整備され、適切に維持、運営されていること。

（１）９－１の事実の説明（現状）

9-1-①　校地、運動場、校舎、図書館、体育施設、情報サービス施設、附属施設等、教育研究活動の目的を達成するための施設設備が適切に整備され、かつ有効に活用されているか。

＜大学キャンパス＞

美保野キャンパス内には、大学の他に、八戸短期大学、光星学院高等学校専攻科の校舎等も設置されている。美保野キャンパス配置図は、図 9-1-1 のとおりである。

平成 21(2009)年７月に、キャンパス整備計画に関する基本的事項等を審議することを目的として八戸大学･八戸短期大学キャンパス整備委員会（資料 9-3）を設置した。

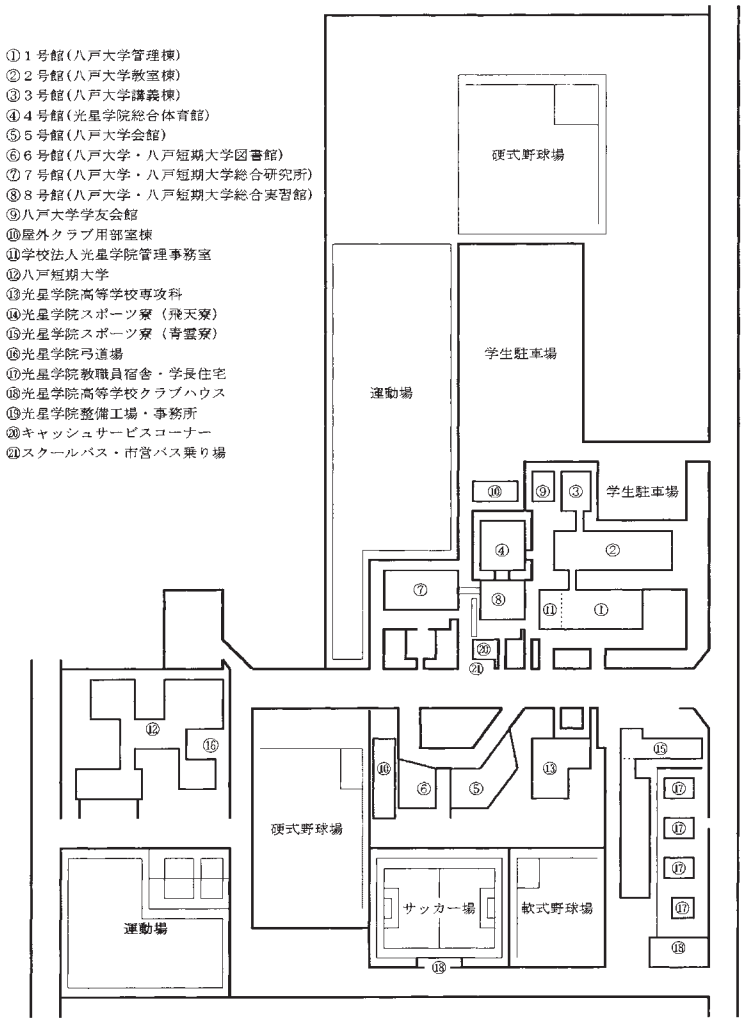

図 9-1-1　美保野キャンパス配置図

＜校地・校舎＞

平成 22(2010)年度における本学の収容定員は、ビジネス学部 360 人、人間健康学部 360 人であり、校地面積は大学設置基準面積 7,200 ㎡に対して 66,684 ㎡、校舎面積は大学設置基準面積 7,702 ㎡に対して 12,535 ㎡であることから、大学設置基準で定める面積を十分満たしている。校地・校舎面積は、表 9-1-1 のとおりである。

表 9-1-1　　校地・校舎面積（データ編表 9-1 より抜粋）

区 分	設置基準上の必要面積	八戸大学面積	備　　考
校地面積	7,200㎡	66,684㎡	運動場用地15,000㎡を含む 寄宿舎492㎡は含まない
校舎面積	7,702㎡	12,535㎡	体育館2,701㎡と教職員宿舎 1,571㎡を含まない

校舎等の施設は、1 号館（管理棟）、2 号館（教室棟）、3 号館（講義棟）、4 号館（総合体育館）、5 号館（大学会館）、6 号館（図書館）、7 号館（総合研究所）、8 号館（総合実習館）となっている。そのうち 6 号館、7 号館の一部および 8 号館がバリアフリー化されている。校舎等施設概要は、表 9-1-2 のとおりである。

表 9-1-2　　校舎等施設概要

区　　分	棟　　名	階数	用　　途
管理施設	1号館（管理棟）	1F	教学事務室・法人管理事務室
		2F	学長室・研究室(30室)
教育研究施設	2号館（教室棟）	1F	保健室・学生相談室・ゼミ室（7室）
		2F	一般教室(2室)・ゼミ室(5室)
		3F	一般教室(3室)
	3号館（講義棟）	1F	実習室(3室)
		2F	講義室(1室)・ゼミ室(3室)
		3F	講義室(1室)・ゼミ室(3室)
	5号館（大学会館）	1F	食堂・売店・就職支援室
		2F	講義室・会議室
		3F	講義室・ゼミ室(3室)
	6号館（図書館）	1F	事務室・書庫・ブラウジングコーナー・チャペル
		2F	開架書架・閲覧席
	7号館（総合研究所）	1F	事務室・サーバールーム
		2F	実習室(1室)・自習室(1室)
		3F	実習室(2室)
		4F	実習室(2室)
	8号館（総合実習館）	1F	事務室・更衣室(男女)・教室(4室)
		2F	人間健康学部研究室(16室)・実習室(２室)
		3F	教室(３室)・実習室(１室)・多目的室(２室)
		4F	看護学科研究室(16室)・実習室(2室)
体育施設	4号館（総合体育館）	1F	事務室・更衣室(男女)・アリーナ
		2F	観覧席・人間健康学部ゼミ室(3室)

なお、八戸大学学生駐車場入口付近での車輌追突事故防止のために、八戸市道階上道路改良舗装工事計画に併せて八戸市建設部道路建設課と協議して右折レーン設置を計画し、平成 21(2009)年 4 月 24 日の評議員会、理事会の承認を得て、校地 624.87 ㎡を八戸市に寄附した。

＜図書館＞

八戸大学・八戸短期大学図書館（以下、図書館）は 2 階建て(1,636 ㎡)で、1 階は新聞閲覧台や閲覧席のほかソファーなどが設置されたブラウジングコーナー、個人用ブースや複数視聴用ワイドビジョンが設置された AV コーナーのほか、書庫や事務室などがある。2 階は閲覧席（164 席)や、開架書架、研究室が設置されている。また、多目的ホールとして AV 機能を備えた礼拝堂（チャペル）を併設しているのが特徴である。

礼拝堂（チャペル）は、クリスマス・ミサ、クリスマス・コンサートの他、八戸大学・八戸短期大学の学生への図書館使用方法の説明または公開講座等で使用している。

図書館内配置図は、図 9-1-2 のとおりである。

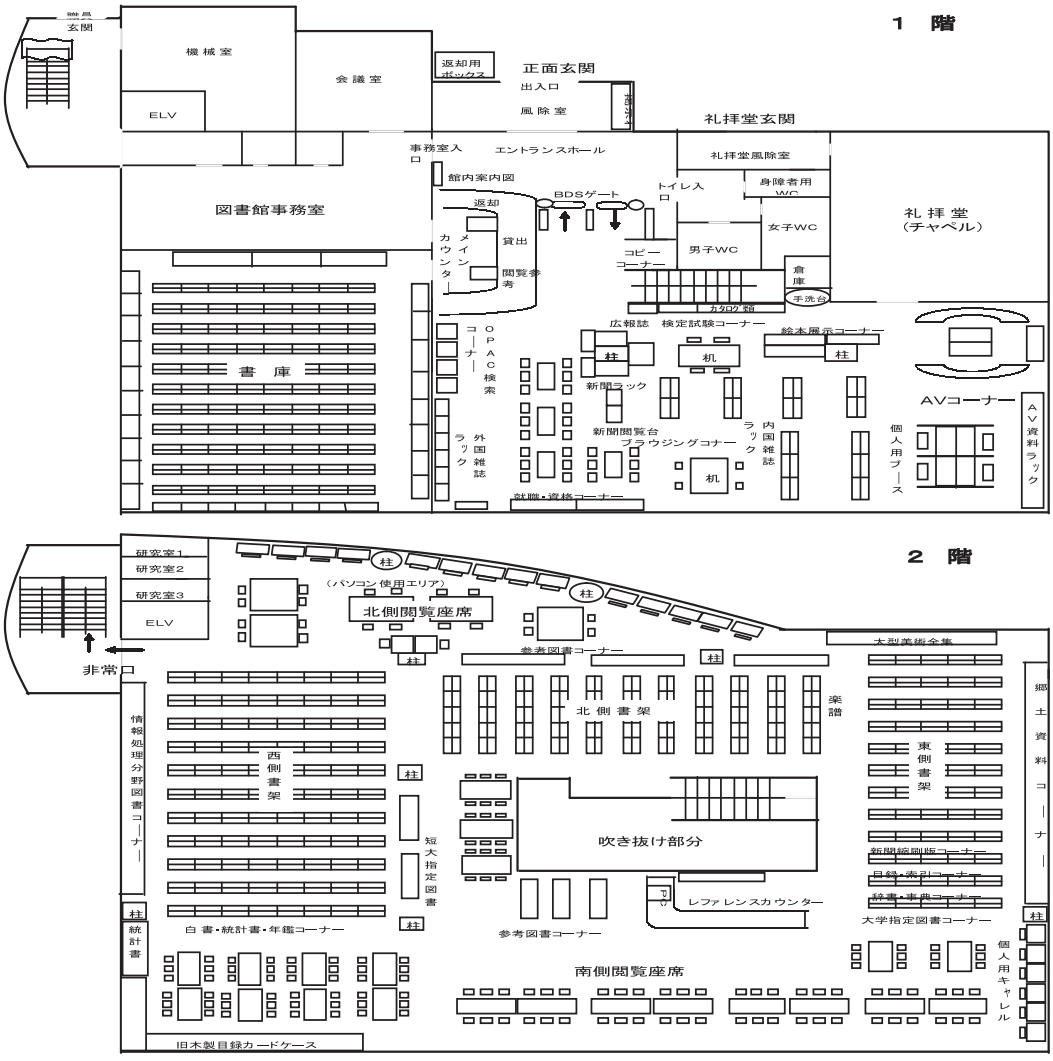

図 9-1-2　　図書館内配置図

貸出サービスを向上するため「八戸大学・八戸短期大学図書館規程細則」（資料 9-4）を一部改正し、館外貸出冊数と貸出期間を大幅に改定した結果、図書館の利用者が増えた。

また、特別貸出サービスを設け通常の貸出期間や冊数より長期間（1～2 ヶ月）で多数（最高 15 冊）の資料を貸出している。

図書館の開館時間は、平日は 8 時 50 分から 18 時まで、長期休暇期間中は 8 時 50 分から 17 時までとなっており、館内には閲覧席が 164 席、AV コーナー等が設置され学生・教職員に有効に活用されている。

＜体育施設＞

総合体育館、天然芝が整備された硬式野球場、軟式野球場およびサッカー場のほか、短大敷地内に弓道場があり、大学弓道部が利用している。

平成 21(2009)年度には多目的野外練習場に 100m 直線走路、投てきサークルを整備し、大学・短大の体育の授業やクラブ活動に活用されている。

体育施設は、授業に加え、学生のクラブ活動に有効に活用されており、近隣の少年サッカークラブにも開放している。

＜野外施設＞

学生駐車場（176 台駐車可能）や駐輪場（30 台駐輪可能）が整備され、需要に対応している。また、安全性を確保するため、平成 22(2010)年度には学生駐車場入口右折レーン設置工事が開始される。

＜情報環境設備＞

コンピュータ実習室は、八戸大学･八戸短期大学総合研究所（以下、総合研究所）にあり、授業で利用する実習室には、パソコン 48 台を設置し、授業以外でも利用可能なオープンルームには、パソコン 20 台を設置している。各パソコンにインストールされているオペレーティングシステムやアプリケーションはすべて共通であり、学生は自分のユーザ ID とパスワードを利用することによって常時同じ環境で利用することが可能となっている。

また、キャンパス LAN は教室棟をはじめ、図書館や八戸大学会館並びにスポーツ寮と教職員宿舎にも整備されている。SSL-VPN 接続によりキャンパス LAN への接続が可能であり、自宅からの教学システムサービス等の利用が可能となっている。

＜その他＞

大学敷地内には、八戸大学学友会館と硬式野球部専用のスポーツ寮が設置されている。本学に関係する施設として、八戸商工会館（八戸市中心街）内に、総合研究所市内オフィスを設置している。

9-1-②　教育研究活動の目的を達成するための施設設備等が、適切に維持、運営されているか。

施設全体の維持管理については、総務部管財課が日常の管理点検や環境整備（芝刈り、剪定、冬季除雪）を行っている。また、校舎の清掃は業者に委託している。

施設設備の点検としては、簡易水道などの自主点検のほかに、表 9-1-3 に示す法定検査を定期的に行い所轄庁等への報告を適切に行っている。

表 9-1-3　　定期検査実施一覧

検査・点検項目	実施時期	点 検 方 法
消防用設備保守点検	年2回　6・12月	外部委託
浄化槽保守点検	年12回　毎月	株式会社学園サービス
浄化槽法定検査	年1回　7月	青森県浄化槽検査センター
貯水槽清掃	年1回　12月	外部委託
簡易専用水道検査	年1回　7月	青森県薬剤師会衛生検査センター
電気設備点検	年12回　毎月	外部委託
電気設備年次点検	年1回　8月	外部委託
昇降機定期検査	年4回	外部委託
ボイラ性能検査	年1回　7月	ボイラ・クレーン安全協会
ボイラ排気ガスばい煙測定	年1回　3月	外部委託

夜間の警備は、警備会社に委託している。

AED（自動体外式除細動器）は、本館 2 箇所、体育館、総合実習館の計 4 箇所に設置し、緊急時に備えている。

（２）９－１の自己評価

学生駐車場付近での安全性確保のため、右折レーンが設置されることになった。

図書館、体育施設、野外施設、情報環境設備は、授業および課外活動等で有効に活用されている。

施設設備の管理および冬季における除雪等の環境整備は、日常的に実施している。

キャンパス周辺には、悪臭発生の環境があり、八戸市と協議して改善策を検討する。

（３）９－１の改善・向上方策（将来計画）

防臭対策については、美保野地区全体の課題でもあり、八戸市と協議をして改善策を検討する。

不審者の侵入を防ぐ観点から防犯カメラの設置を進める。

９－２　施設設備の安全性が確保されていること。

（１）９－２の事実の説明（現状）

9-2-①　施設設備の安全性（耐震性、バリアフリー等）が確保されているか。

① アスベストについては、平成 17(2005)年度に調査を行い「全館石綿なし」という結果となり安全性が確認されている。

② 耐震基準適合については、最も古い建物は、昭和 55(1980)年に建設された 1 号館（管理棟）・2 号館（教室棟）であり、未だ耐震診断が行なわれていない。

③ バリアフリーについては、バリアフリー化されていない校舎の玄関には、スロープ

を取り付けた。また、3 号館（講義棟）階段に手摺りを取り付けた。

（２）９－２の自己評価

バリアフリー化されていない校舎玄関にスロープを、3 号館階段に手摺りを取り付けるなど、バリアフリー化に努めている。

耐震基準適合については、一部の建物を除き耐震診断が行なわれていない。

学内の主要な設備である消防設備、電気設備、エレベータ設備などは、それぞれ専門の業者に定期的な保守点検整備を委託しており、点検結果を受けてその都度必要な措置を講じており安全性は確保されている。

（３）９－２の改善・向上方策（将来計画）

校舎全体のバリアフリー化を検討する。

耐震診断を計画的に実施する。

９－３　アメニティに配慮した教育環境が整備されていること。

（１）９－３の事実の説明（現状）

9-3-①　教育研究目的を達成するための、アメニティに配慮した教育研究環境が整備され、有効に活用されているか。

本学のキャンパス全体は、緑に囲まれた豊かな自然環境で、静かな教育研究環境であり、キャンパス内にはベンチが設置され、学生の談話等に活用されている。

学内の衛生面については、校舎内の全面禁煙と館内外清掃を徹底し、全体として清潔で快適なアメニティとしての教育研究環境を整えている。

学生会館内にある食堂については、メニューやテーブルの配置等の改善を行い、学生が快適に食事や会話ができる環境を整えた。

本学の通学手段は、スクールバス、路線バスに加えて自動車・バイク等がある。このため敷地内には、十分な広さを確保した学生駐車場および駐輪場を設置している。

（２）９－３の自己評価

キャンパス全体は、豊かな自然環境に囲まれ、清潔で快適なアメニティとしての教育研究環境を整えている。

学生食堂は、学生のニーズに応じたメニューと明るく快適な環境を整えたため、利用者が急増した。

自動車等による通学者が多いため、敷地内に十分な広さの学生駐車場および駐輪場を設置しているが、舗装の再整備が必要な箇所がある。

（３）９－３改善・向上方策（将来計画）

学生食堂の利用者急増に対応するため、八戸大学･八戸短期大学キャンパス整備委員会で拡張等について検討する。

学生駐車場の舗装再整備工事を計画的に行う。

［基準９の自己評価］

キャンパス全体は、豊かな自然環境に囲まれ、清潔で快適なアメニティとしての教育研究環境を整えている。また、図書館、体育施設、野外施設、情報環境設備は、授業および課外活動等で有効に活用されている。学生食堂は、学生のニーズに応じたメニューと明るく快適な環境を整えたため、利用者が急増した。

バリアフリー化されていない校舎玄関にスロープを、3 号館階段に手摺りを取り付けるなど、施設設備の管理や環境整備は、日常的に実施している。

しかし、一部の建物を除き耐震診断が行なわれておらず、キャンパス周辺の悪臭問題も改善されていない。

［基準９の改善・向上方策（将来計画）］

学生食堂の利用者急増に対応するため、八戸大学・八戸短期大学キャンパス整備委員会で拡張等について検討する。

耐震診断を計画的に実施するとともに、悪臭問題は八戸市と改善策を協議する。